

社会福祉法人徳風会 定款

第1章 総則

(目的)

第一条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

第二種社会福祉事業

- (イ) 保育所の経営
- (ロ) 一時預かり事業の経営

(名称)

第二条 この法人は、社会福祉法人徳風会という。

(経営の原則等)

第三条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取り組みとして、子育て世帯等を支援するため、無料または低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第四条 この法人の事務所を神奈川県横浜市神奈川区に置く。

第2章 評議員

(評議員の定数)

第五条 この法人に評議員7名を置く。

(評議員の選任及び解任)

第六条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、事務局員1名、外部委員1名の合計3名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数を以って行なう。ただし、外部委員が出席し、かつ、外部委員が賛成することを要する。

(評議員の任期)

第七条 評議員の任期は、選任後6年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。
- 3 評議員は、第五条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第八条 評議員に対して、各年度の総額が300,000円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

第3章 評議員会

(構成)

第九条 評議員会は全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第一〇条 評議員は次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第一一条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第十二条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び召集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第十三条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。
 - (1) 監事の解任
 - (2) 定款の変更
 - (3) その他法令で定められた事項
- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第一五条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から、得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。
- 4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第十四条 評議員会の議事については、法令に定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名が議事録に署名し、又は記名押印する。

第4章 役員及び職員

(役員の数)

第十五条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 6名
 - (2) 監事 2名
- 2 理事のうち1名を理事長とする。

(役員を選任)

第十六条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第一七条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款に定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 理事長は、毎会計年度に4月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第一八条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第一九条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員の終結の時までとし、再任は妨げない。

2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとすることができる。

3 理事又は監事は、第一五条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第二〇条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第二一条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(職員)

第二二条 この法人に、職員を置く。

2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員(以下「施設長等」という。)は、理事会において選任及び解任する。

3 施設長以外の職員は、理事長が任免する。

第五章 理事会

(理事会)

第二三条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第二四条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

(1) この法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長の選定及び解職

(招集)

第二五条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第二六条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事(当該事項について議決に加わることができるものに限る。)の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき(監事が当該提案について異議を述べたときを除く。)は

、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第二七条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名、又は記名押印する。

第六章 資産及び会計

(資産の区分)

第二八条 この法人の資産は、これを分けて基本財産とその他の財産の2種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

- (1) 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町字具行725番地2所在の
羽沢保育園 敷地
1筆(829.02平方メートル)
- (2) 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町字具行725番地2所在の
鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
羽沢保育園 園舎
1棟(468.71平方メートル)
- (3) 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町字具行725番地3所在の
羽沢保育園 敷地
1筆(330平方メートル)
- (4) 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町字具行725番地4所在の
羽沢保育園 敷地
1筆(165平方メートル)
- (5) 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町字具行725番地3所在の
軽量鉄骨垂鉛メッキ鋼板葺2階建
羽沢保育園 園舎
1棟(79.48平方メートル)
- (6) 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町字具行725番地3、725番地4、725番地2所在の鉄骨造合金メッキ
鋼板葺2階建
羽沢保育園 園舎1棟(275.10平方メートル)
- (7) 横浜市神奈川区羽沢町字具行726番5所在の
羽沢保育園 敷地
1筆(176平方メートル)
- (8) 神奈川県横浜市港北区新吉田東三丁目3900番地、3897番地、
3899番地、3898番地所在の鉄骨造陸屋根2階建
めぐみ保育園 園舎
1棟(664.48平方メートル)

3 その他財産は、基本財産以外の財産とする。

4 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第二九条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事会及び評議員会の承認を得て、横浜市長の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、横浜市長の承認は必要としない。

- (1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- (2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資(独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。)に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合(協調融資に係る担保に限る。)

(資産の管理)

第三〇条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて保管する。

(事業計画及び収支予算)

第三十一条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始前に、理事長において作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第三十二条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)
- (5) 貸借対照表及び収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第三十三条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第三十四条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第三十五条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意がなければならない。

第七章 解散

(解散)

第三十六条 この法人は、社会福祉法第四十六条第一項第一号及び第三号から第六号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第三十七条 解散(合併又は破産による解散を除く。)した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

第八章 定款の変更

(定款の変更)

第三十八条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、横浜市長の認可(社会福祉法第四十五条の三六第二項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。)を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を横浜市長に届け出なければならない。

第九章 公告の方法その他

(公告の方法)

第三九条 この法人の公告は、社会福祉法人徳風会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子広告に掲載して行う。

(施行細則)

第四〇条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員の選任を行うものとする。

理 事 長	稲垣 英夫
理 事	安藤 仁雲
”	岐津 俊二
”	佐々木 準一
”	藤森 真道
”	中山 清一
監 事	宗 尊吉
”	進藤 紘子

附 則

この定款は平成二九年四月一日より施行する。

役員名簿 30年4月1日現在

理事 監事の別 (代表権の有無)	ふり がな 氏 名
理事 (代表権無)	いながきやすこ 稲垣 泰子
理事 (代表権有)	いながきともゆき 稲垣 智之
理事 (代表権無)	たなかせいこ 田中 誠子
理事 (代表権無)	むらせれいこ 村瀬 玲子
理事 (代表権無)	いざわみちこ 伊澤 美智子
理事 (代表権無)	かねこふみこ 金子 フミ子
監事	くわたひろたか 桑田 廣隆
監事	ふじおよしたか 藤尾 良孝

◎保育内容

・保育目標等

仏教的情操心を基礎として、保育所保育指針及び幼稚園教育要領にとりつつ、保育内容の充実につとめる。保育目標は、乳幼児の実態に即した望ましい環境を作り、豊かな生活経験をさせる中で、心身ともに調和のとれた人間形成の基礎を培う。・健康で安全なくらしのできる子・自分のことは自分でできる子・友達と仲良く遊べる子・自分から進んで取り組み工夫する子・心情豊かな子

とした。行事・会議等の記録の整備を図る。職員の情報の共有化を図る。障害児については、関係専門機関と連絡を図りながら保育をするが、基本的な考え方として障害児を介護・配慮を別として特に区別せず、健常児と同じようにできることは、自助努力できるよう指導することとした。

◎開園時間 平日 7:30~19:00 土曜日 7:30~18:30 ◎児童数 定員は 160 名（乳児 32 名、幼児 128 名）

めぐみ保育園の事業内容

4月	新年度開始
5月	花祭り、クラス別懇談会
6月	児童健康診断（1）、児童歯科検診（1）、じゃがいも堀り
7月	プール指導開始、夕涼み会
8月	プール指導
9月	防災訓練
10月	運動会
11月	遠足、児童健康診断（2）
12月	お店屋さんごっこ、成道会
1月	個人面談
2月	発表会、卒園遠足、児童歯科検診（2）、お別れ会
3月	卒園式、入園説明会

◎保育内容

・保育目標等

仏教的情操心を基礎として、保育所保育指針及び幼稚園教育要領にとりつつ、保育内容の充実につとめる。保育目標は、乳幼児の実態に即した望ましい環境を作り、豊かな生活経験をさせる中で、心身ともに調和のとれた人間形成の基礎を培う。・健康で安全なくらしのできる子・自分のことは自分でできる子・友達と仲良く遊べる子・自分から進んで取り組み工夫する子・心情豊かな子

とした。行事・会議等の記録の整備を図る。職員の情報の共有化を図る。障害児については、関係専門機関と連絡を図りながら保育をするが、基本的な考え方として障害児を介護・配慮を別として特に区別せず、健常児と同じようにできることは、自助努力できるよう指導することとした。

◎開園時間 平日 7:00~20:00 土曜日 7:00~16:30 ◎児童数 定員は 90 名（乳児 20 名、幼児 70 名）

「平成 30 年度事業計画書」（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

本部事業

1、理事会

- (1) 平成 30 年 5 月
 - i 平成 30 年度徳風会決算について
 - ii 平成 30 年度事業報告について
- (2) 平成 31 年 3 月
 - i 平成 31 年度歳入歳出予算について
 - ii 平成 31 年度事業計画について

その他必要に応じて開催

2、監事の監査

平成 30 年 5 月中旬を予定

3、評議員会

- (1) 平成 30 年 6 月
 - i 平成 30 年度徳風会決算について その他必要に応じて開催

4、修繕、賃借、固定資産物品等契約の事項

各施設の事業内容

羽沢保育園

◎主な年間計画

4月	平成 30 年度入園
5月	花祭り、クラス別懇談会
6月	児童健康診断（1）、児童歯科検診（1）、保育実習生受入、じゃがいも堀り

7月	プール指導開始、保育実習生受入、菅田中学実習受入
8月	
9月	防災訓練、運動会
10月	遠足
11月	児童健康診断(2)、職員健康診断、職員採用試験
12月	お遊戯会、成道会
1月	クラス別懇談会
2月	作品展、卒園遠足、羽沢小学校との交流事業、児童歯科検診(2)
3月	お別れ会(人形劇観劇)、第42回卒園式、31年度入園説明会

毎月(誕生会、避難訓練) 随時(近所の公園や神社へお散歩)

◎保育内容

・保育目標等

仏教的情操心を基礎として、保育所保育指針ののっとりつつ、保育内容の充実につとめる。

平成30年度の保育目標は、乳幼児の実態に即した望ましい環境を作り、豊かな生活経験をさせる中で、心身ともに調和のとれた人間形成の基礎を培う。・健康で安全な暮らしのできる子・自分のことは自分でできる子・友達と仲良く遊べる子・自分から進んで取り組み工夫する子・心情豊かな子とする。

行事・会議等の記録の整備を図る。職員の情報の共有化を図る。障害児については、関係専門機関と連絡を図りながら保育をするが、基本的な考え方として障害児を介護・配慮を別として特に区別せず、健常児と同じようにできることは、自助努力できるような指導することとする。

◎職員等

○常勤職員の異動は次の通り。

退職：保育士3名 栄養士2名 就職：保育士3名 栄養士2名 復職：保育士1名

・職員会議、乳幼児別保育会議、年齢別代表者会議、給食会議、障害児保育研修会、課題別会議等の開催、及び外部研修への参加等により職員資質の向上を図る。また、健康診断、毎月の検便、慰労会、児童傷害保険、職員保険への加入等により職員の福利厚生をはかる。職員の週あたり労働時間は、40時間とする。およそ4週7休になる。

◎給食

前年に同じく週6日実施する。3歳未満児は完全給食、3歳以上児は副食給食。毎月1回の誕生会には全員に完全給食を支給する。3歳以上児の希望者には実費負担で主食給食を本年度も支給する。負担額は1,000円。

月次献立表を保護者に配布する。食器についてはなるべく強化陶器を使用し、安全な食生活を確保する。給食見本を随時展示する。さらに、給食及び給食記録簿の充実を図り、内容の充実を図る。また、給食への理解と食物栄養の大切さを啓蒙するため、給食便りを毎月1回家庭向けに発行する。食物アレルギーの児童の給食については、保護者と連絡をとりながらきめ細かい対応をしていく。

◎保育日数、保育時間等

次の予定である。

総日数 365-69=296

保育日数・・・292日 休園日数4日(年末年始4日)

開園時間・・・平日7:30~19:00 土曜日7:30~18:30

◎児童数

定員は160名(乳児32、幼児128)である。定員外入所については、横浜市と協議し対応する。

◎環境、備品

複写機、パソコンソフトをリースする。

◎一時保育事業の実施

昨年度に引き続き、一時保育事業は実施しない。

◎そのほか

昼寝用の布団はリース方式で児童に貸す。ただし、カバーは保護者負担とする。児童数を見て調節する。

めぐみ保育園

◎活動内容

4月	平成30年度入園
5月	花祭り、クラス別懇談会
6月	児童健康診断(1)、児童歯科検診(1)、保育実習生受入、じゃがいも掘り
7月	プール指導開始、保育実習生受入、夕涼み会
8月	
9月	防災訓練、運動会

10月	遠足
11月	児童健康診断(2)、職員健康診断、職員採用試験
12月	発表会、成道会
1月	クラス別懇談会、
2月	作品展、卒園遠足、小学校との交流事業、児童歯科検診(2)
3月	お別れ会(人形劇観劇)、第7回卒園式、31年度入園説明会

毎月(誕生会、避難訓練) 随時(近所の公園や神社へお散歩)

◎保育内容

・保育目標等

仏教的情操心を基礎として、保育所保育指針ののっとりつつ、保育内容の充実につとめる。

平成30年度の保育目標は、乳幼児の実態に即した望ましい環境を作り、豊かな生活経験をさせる中で、心身と調和のとれた人間形成の基礎を培う。・健康で安全なくらしのできる子・自分のことは自分でできる子・友達と仲良く遊べる子・自分から進んで取り組み工夫する子・心情豊かな子、とする。

行事・会議等の記録の整備を図る。職員の情報の共有化を図る。

障害児については、関係専門機関と連絡を図りながら保育をするが、基本的な考え方として障害児を介護・配慮を別として特に区別せず、健常児と同じようにできることは、自助努力できるよう指導することとする。

◎職員等

○常勤職員の異動は次の通り。 退職：保育士1名 就職：保育士2名

・職員会議、乳幼児別保育会議、年齢別代表者会議、給食会議、障害児保育研修会、課題別会議等の開催、及び外部研修への参加等により職員資質の向上を図る。また、健康診断、毎月の検便、慰労会、児童傷害保険、職員保険への加入等により職員の福利厚生をはかる。職員の週あたり労働時間は、40時間とする。

◎給食

週6日実施する。完全給食。3歳以上児は主食代は、実費負担で主食給食を本年度も支給する。負担額は2,000円。月次献立表を保護者に配布する。給食見本を随時展示する。さらに、給食及び給食記録簿の充実を図り、内容の充実を図る。また、給食への理解と食物栄養の大切さを啓蒙するため、給食便りを毎月1回家庭向けに発行する。食物アレルギーの児童の給食については、保護者と連絡をとりながらきめ細かい対応をしていく。宗教に配慮した給食を実施予定。

◎保育日数、保育時間等

次の予定である。

総日数 365-69=296

保育日数・・・292日 休園日数4日(年末年始4日)

開園時間・・・平日7:00~20:00 土曜日7:00~16:30

◎児童数

定員は90名(乳児20、幼児70)である。定員外入所については、市と協議し対応する。

◎環境、備品

複写機、券売機、電話機をリースする。

◎一時保育事業の実施

実施無

◎その他

昼寝用の布団はリース方式で児童に貸す。ただし、カバーは保護者負担とする。児童数を見て調節する。